

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 2024年 2月 5日

事業所名 ぽかぽか広場足利

保護者等数(児童数) 13 回収数 10 割合 76.9%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10 100%			バランスボール等で伸び伸びと遊べる場所があるので良いと思う。	身体を動かして遊ぶことのできる部屋と、静かな遊びを楽しむ部屋を分けて対応している。今後も取り入れそれぞれのお子様ที่落着いて活動できる場所を確保していく。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10 100%				
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8 80%	2 20%			必要だと感じる設備等は統括管理者に相談し、報告や相談をしている。より良い環境を目指していく。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(i)が作成されているか	10 100%			子どもたちの様子をきちんと分析し、将来に繋がるような計画が作られている。	日々のお子様の様子をよく見つけ、一人ひとりのお子様に必要な支援を心掛けて、将来につなげていけるような計画を作成していく。
	5 活動プログラム(ii)が固定化しないよう工夫されているか	8 80%	2 20%			イベントを決める際は中との活動を交互にしたり工夫をしている。たくさんの「経験」ができるようもっと工夫をしていきたい。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7 70%	3 30%		・多くのイベントを通して交流の機会はあると思うが障がいのない子に限定すると分からないため。 ・分からない	児童館や近所の公園などで地域のお子様と交流する機会もたまにある。そういった機会があった時は保護者の方にも積極的に伝えをしていく。また今後も障がいのないお子様との交流の機会をもてるよう地域との連携を深めていきたい。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10 100%				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10 100%			日々の状況を分かりやすく保護者に伝え、共通理解に取り組んでいる。	今後も、保護者の方々の信頼関係を築きながら、共通理解に努め、より良い支援に繋げていく。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9 90%	1 10%			それぞれの職員がしっかりと子どもたちの様子を見て保護者の方も支えていけるようスキルアップを図る
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7 70%	2 20%	1 10%		父母の会はないが、年に一度、保護者の方を招いたイベントを開催している。そういった機会の際に保護者さま同士の交流が持てるよう工夫をする。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10 100%			保護者が困った時や不安を感じた事をきちんと受けとめて迅速に理解をもって対応している。	保護者の方からのご意見があった時には、真摯に受けとめ、職員間で共通理解を図りながら保護者の方への丁寧な説明を行い苦情を解決できるようにしている。その後職員で共有し同じことを繰り返さないように努めている。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10 100%			送迎の際や連絡帳を通し細やかに、また共有をスタッフさん同士がなされるよう工夫している。	1日に複数回のミーティングを通して職員同士が共通理解を図っている。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10 100%				月に一度、通信を配布し、活動内容の詳細を説明している。週に一度のブログでも、お子様の日々の様子を伝えている。お子様たちが次の活動を楽しみにできるよう、口頭でも伝えるようにしていく。
14 個人情報に十分注意しているか	9 90%	1 10%			会社と全職員で「守秘義務の誓約書」を交わし、個人情報などの取り扱いに最新の注意を払うようにしている。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9 90%	1 10%			・年に2回の避難訓練を実施している。 ・入社時にマニュアルの読み合わせを行っている。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10 100%			避難訓練も具体的に動けるよう配慮しながら行われている。	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	10 100%			数日お休みした後の利用再開日は通所出来る喜びを全身で表している。	お子様の成長を見守らせていただけことに感謝をし1人ひとりのお子様を通所を楽しみにできるような活動を取り入れ、より良い支援に繋げていけるようにしていく。
	18 事業所の支援に満足しているか	10 100%			子どもと保護者に寄り添い一緒に悩み考えてくださる姿勢に頭が下がる。	利用者さんのニーズ、保護者の方のニーズをきちんと理解し職員一同子どもたちの「最善」を考えた支援を心掛けていく。さらに充実した支援を行うことができるよう努力を重ねていく。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。